

美容目的の施術

本会保障制度の対象施術は健康目的だけでなく美容を目的とする施術も含まれます。オイルマッサージ・美容鍼・EMSなどがこれにあたります。本会が相談を受けた主なクレームの内容と対策・心構えをご案内します。

● オイルマッサージ

【皮膚炎】

利用者にオイル成分へのアレルギーの有無を確認し、柑橘系のオイルの使用後は直射日光に当たらないよう注意してもらうなどの対策はされていると思います。肌が荒れたと皮膚科を受診したもののオイルが原因でなかったケースもあります。クレームを受けた場合にはオイルが原因と決めつけず、利用者と一緒に事実を確認する姿勢で臨むことが大切です。

● 美容鍼

【鍼痕】

鍼を刺したところに痕が残っているというクレームです。他人から見れば分からないような1mmに満たない痕であっても、施術を受けるまではなかったと頑強に主張されると対応に困ります。治療が必要な傷ではないため施術者が賠償責任を負う義務は生じないことを念頭に置いた対応が必要です。

【顔面神経麻痺・痺れ】

施術者は顔面神経痛の治療として鍼治療を行うもので、発症・悪化させることはないと言えます。ただ、鍼に起因する直接的な原因が判明しない場合で他に原因となる要素がみられない場合は、蓋然性が高いとされる恐れが高くなります。

上記2点のほかにも内出血の相談を受けることがあります。

美容鍼では事故を避けるために細い鍼を使用される店舗もありますが、通電する場合はメーカーが推奨していない太さの鍼を使用すると別のリスクを高める恐れに繋がります。

● EMS

【腹部熱傷】

パッドと肌の間に気泡が入っていたか、電極が直接肌に触れることなどにより電気刺激が肌に直接当たったことが原因による電気熱傷です。パッドの表面は使用の度にゴミなどを取り除き、きれいな状態を保ち定期的に交換する。ジェルなどを使用する場合は塗布量に注意し、まんべんなく塗るなどあたり前の対応を徹底することで防げる事故と考えています。



店舗の営業上は提供するサービスの良い面をアピールし利用者に購入を促すことは当然のことです。しかし、美容系の施術に共通していえることは、偶然に不幸な事故が発生した場合、多少の痕ですら許容できないほど美意識の高い方や自分の理想通りにならなかったことに感情をむき出しにするような方には、万が一の恐れを十分に説明し両者納得の上で販売しないことです。

良い点も悪い点もしっかりと理解いただける方かどうか、提供可能な利用者の選別になります。このことが大きなトラブルとなる可能性を軽減できるものと考えます。

ONE POINT

カッピングによる皮膚炎やよもぎ蒸し・ホットストーンによる熱傷も本会保障制度の対象です

JHA NEWS

☆本会ではさまざまな施術事故の症状に対して状況に合わせたアドバイスを行っております☆

・施術トラブル / クレーム対応無料電話相談・JHANewsの発行・会員保障制度など
ご希望の方には病気やケガで働けないときの支えとして所得補償保険を提供しています（別途保険料が必要）

国家資格者

会員種別

正会員A 準会員

すべての治療家、施術家に
安心・安全を提供します

入会金無料

民間施術者

会員種別

正会員B

【ご不明な点・詳細は、お気軽にお問い合わせください】



一般社団法人 日本治療協会

Japan Healing Association

URL: <http://www.jha-shugi.jp>

E-mail: info@jha-shugi.jp

◎ JHANewsのバックナンバーはホームページでご覧いただけます ◎

TEL: 03 (6281) 8188

FAX: 03 (6281) 8187

TEL 受付: 10:00 ~ 18:00 (平日) FAX 受付: 24時間年中無休

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-4-11 日本橋SSビル2F